



木曾川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2023年4月9日(日) 9:30~12:00(快晴)

参加者 一般:4名

指導員:3名

テーマ 春の妖精に出会えるかな？

短い桜の季節は過ぎましたが、野山は百花繚乱といった感じでした。この日のテーマは、春の妖精(スプリングエフェメラル)です。

このコースでは、ツマキチョウくらいしか思い当たらず、白い蝶が飛んだ時には捕まえようと追いかけてました。モンシロチョウ、モンキチョウ(♀)は確認できたものの、ツマキチョウらしい飛び方の蝶は捕獲できませんでした。(4/4の下見では写真に撮れました。)

なお、花ではスプリングエフェメラルとされるムラサキケマンが咲いていました。

今回は、いろいろな花をじっくりと見比べてみました。

集合地点の近くでは、シソ科のカキドオシとキランソウの青~紫系統の花が咲いていました。大きさは違いますが、唇型と呼ばれる形状の花は似ています。

堤防付近では、マメ科の3種のノエンドウ(カラス、スズメ、カスマグサ)が隣接して花をつけていました。花の大きさ、数、色、花柄の長さ、托葉の形状、葉の先端の巻きひげなどをルーペでしっかり観察しました。

また、スミレの仲間4種(スミレ、ヒメスミレ、アリアケスミレ、ニョイスミレ)も葉の形状、翼の発達具合、花の大きさや色などを比較してみました。

途中で出会った人から、ムサシアブミが咲いていると教えてもらい、もくもくパラダイスの池に立ち寄りました。テンナンショウの仲間、緑色に白い筋の入った仏炎苞を持った花をつけていました。こんなところに自生する植物ではないので、誰かが持ち込んだものでしょう。近くにはエビネの花も見られました。

また、ここでは大きな木が伐採されて、池に日が当たるようになっていましたが、昨年、近くの木にオオタカが営巣したところなので、今後、影響が出ないか心配です。

(報告:齋竹)



(カナビキソウを観察中)

<その他見られたもの>

花:アケビ、ヘビイチゴ、オヘビイチゴ、カナビキソウ、ニホンタンポポ、ヒメブタナ、コウゾリナ、ニガナ、ハルジオン、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、イヌナズナ、コメツブツメクサ、シロツメクサ、オオイヌノフグリ、タチイヌノフグリ、ムラサキサギゴケ、ノミノフスマ、ミドリハコベ、オランダミミナグサ、ノミノツツリ、セントウソウ、ヤブニンジン、クサイチゴ、キュウリグサ、ハナイバナ、ヤエムグラ、ホウチャクソウ、ナガバオモダカ、アオキ

鳥:トビ、ツバメ、キジバト、シジュウカラ、ムクドリ、ヒヨドリ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、キジ(声)、コジュケイ(声)、ウグイス(声)、メジロ(声)、コゲラ(声)

虫:キタキチョウ、ツバメシジミ、ヤマトシジミ、ベニシジミ、ムラサキシジミ、ツマグロヒョウモン、キタテハ、ハラグロオオテントウ、セイヨウミツバチ、オオスズメバチ



別名「地獄の窯の蓋」 キランソウ



小型の白い花のニョイスミレ



春の妖精:ムラサキケマン



なぜここに? ムサシアブミ